

思えば6年前、生まれて40日たった日に、私は実の両親(黒柴の父と茶柴の母)の元を離れ、育ての母に抱かれてブルブル震えながらこの家にやってきた。その日から清里のこの家が私の家となった。ここに来た最初の日、昼はずっと一緒にいたのに、夜になると二人は違う部屋に行ってしまう。淋しくて悲しくて大きな声で鳴くと、甘々のお母さんがケージごと二人のベッドのそばに運んでくれた。嬉しかったけど、一つ問題があった。私のトイレの場所は1箇所、それがリビングにあったので寝室からトイレまでちょこちょこ歩いて間に合わず、何度もトイレの手前で・・・という事になってしまった。あの時はごめんね。



お母さんが『♪凜ちゃんりが付くリンゴの子リリリラララ♪』と米津玄師さんのように歌ってくれるけど、凜という名前は私がこの家の子になると決まった時に、お母さんが凜とした女の子であるようにと願って決めたらしい。それで、市役所に宮澤凜と届けられた。この家に来て3ヶ月ぐらいて予防接種を済ませて、やっとお散歩に出られるようになった日に、お母さんに連れられてご近所に挨拶に行った。私はもう6歳だけど今でも毎日散歩の時は近所の人たちが「凜ちゃん」と声をかけてくれる。6年の間にはいろんなことがあって、怖くてビクビクしながら病院にも何度か行った。病院は今でも行くのが嫌で、車の中で尻尾が下がっちゃう。一番大変だったのは、1歳の時に除草剤のついた草を食べてしまったらしく気持ちが悪くてぐったりしてしまった時だった。二人ともすごく心配して毎日薬を飲ませてくれた。噛んではいけない薬なので、二人がかりで口を開けさせ飲み込ませるのが大変だったみたい。すっかり元気になるまで1ヶ月以上かかったかな。最近は体もちょっと大きくなりすぎてダイエットしなくちゃなんて言われるほどになったけど、ダイエットは難しい。二人は食事に気をつけてくれるけど、私の『食べたいアピール』には負けている。

この頃、お母さんが私を見つめて「あと10年は元気でいないとね。」と呟くことがある。私よりちょっと長生きしなくちゃいけないと思っているみたい。でもね、お母さんはここに来て、お父さんの新しい面をたくさん発見したらしい。もちろん良いところだよ。それってすごいよね。「もっともっと良いことあるよ。だから未来を心配しないで、みんなで毎日をうーんと楽しもうよ。」と私が言っているのに、日本語ではないのでなかなか伝わらない。

## ◎おじゃまします！同好会

### ☆プラチナ研究会 ..... (長坂町)

名前は研究会ですが、堅苦しい集まりではありません。60代から80代まで多様な世代のメンバーが集まって、『八ヶ岳南麓を終の棲家にするために何が出来るか』と和気藹々話をしています。



ふるさと倶楽部というコミュニティがあることは心強いところですが、より近くの人と日常的な関係を深めることが重要と考え、各地域でのサロン開催を進めたりしています。北杜市の介護予防サポートリーダー講習を受講したメンバーもいて、内容のアイデアを共有します。

また一人暮らしや緊急時の心配を少なくするため、日頃から情報を整理しておく「救急医療情報キット」を作成しました。自分で意思表示をすることが困難になった時、伝えてほしい連絡先、かかりつけ医・飲み薬などの日常の医療情報、リビングウィルも記入しておくことができます。いざという時のために備えておきたいと思われる方には、実費ですが配布していますのでご連絡ください。

.....

### ☆ゴルフ同好会「月曜会」 ..... (小淵沢町)

168回を数える「ふるさと倶楽部」のゴルフ好きによるコンペも、今年で17年目を迎えました。これ程まで永く続くとは思いませんでした。今思えば、畑の片隅で『ゴルフを教えてください！』とお願いした一言で始まりました。たった二人の長坂での練習は、「ふるさと倶楽部」の名簿の趣味欄から声をかけて4人が集まり、清里のゴルフ場でスタートしたのがコンペの始まりです。更に、ゴルフ好きの皆さんに声をかけ始めると直ぐに10人ほどが集まり、ニアピン賞や1位、2位を予想するなど、楽しむゴルフから、切磋琢磨する熱の入ったコンペが展開されるようになり、会員相互の親睦が一層図られるようになりました。

「月曜会」の名前は、八ヶ岳南麓ゴルフ場の料金が月曜日に安い為付いたコンペ名です。月一度の集いではありますが、野辺山、富士見から蓼科まで広範囲に及び、数多くのゴルフ場で四季を通してプレーできる歓びに感謝しております。

